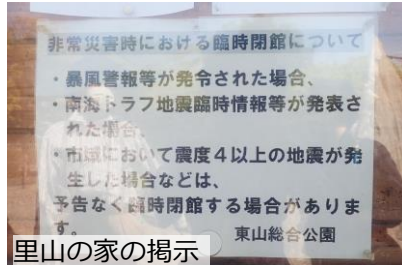




今年の7月は「観測史上最も暑い7月」になったそうです。8月に入ってからの最高気温も35℃を下回ることなく雨も降らず厳しい暑さが続いています。そのためか久しぶりに少人数の自然観察会になりました。

8月8日の地震を受けて、里山の家でも**臨時閉館に関する告知**が掲示されていました。里山を家の南にあるケヤキの幹を**キマダラカメムシの幼虫**が歩いていました。ツヤのない背部ですが、1ヶ所特徴的な黒い模様があり、陽の光を受けて目立っていました。**カラスウリの蕾にはクロウリハムシ**がやってきていました。



参加者の高校生が次々と捕らえたトンボを見せてくれました。**ギンヤンマ**は大きく、その美しい体色に目を引かれました。草むらでは**ツチイナゴの幼虫**が何頭も見つかりました。畑では**ワタ**の花が咲いていました。



さとの道を進み始めると**ギボウシ**が咲いていました。道沿いの草むらでは人間の背丈よりも高く**セイバンモロコシ**の穂が伸びていました。エノキの葉に虫こぶが見つかりました。虫こぶは植物の名前から同定しやすく、これは**エノキハトガリタマフシ**であるとわかりました。虫こぶの形成者はタマバエの仲間です。



湿地ではシラタマホシクサが小さな花をつけ始めていました。ほかに**ヌマトラノオ**、**ミズギボウシ**もわずかながら咲いているのを確認することができました。**ワレモコウ**はたくさん花をつけていました。ワレモコウの花穂は小さな花が集まっているように見えますが、花びらのように見えるのは萼の部分とのことでした。



葉陰で**アカイトトリノフンダマシ**が休んでいました。夕方から活動して網を張ってエサを獲り昼間は一見クモの仲間とはわからない姿でじっとしています。その後移動した田んぼの脇の草むらでは**トリノフンダマシの卵囊**も見つかりました。田んぼの南のカキノキでは今年も**ヒメクロイラガの幼虫**を確認しました。



アカイトトリノフンダマシ



トリノフンダマシの卵囊



ヒメクロイラガの幼虫

田んぼのあぜ道沿いでは、次々と水辺を好む植物を観察しました。**ヒレタゴボウ**は別名をアメリカミズキンバイという外来種です。今回初めて教えてもらった**ヒメミソハギ**は、まだつぼみでしたがミソハギよりもずっと小さな花が咲くようです。**クサネム**は、1cmほどの淡い黄色の花が咲いたところでした。



ヒレタゴボウ



ヒメミソハギ



クサネム

さらに**ハッカ**の花を紹介してもらいました。ミントやアップルミントのような穂状の花ではなく、葉の付け根にたくさんの小さな花が集まっています。さとの道を通って帰る途中3cmほどの大きさの**ミノムシ**を見つけました。**ヘクソカズラ**の花を観察すると、赤紫色の内側部分には無数の毛が生えていました。



ハッカ



ミノムシ



ヘクソカズラの花

ニシキギの葉に**キバラヘリカメムシ**がとまっていた。その名の通り腹部の黄色い美しいカメムシでした。飛んできた**白いチョウ**が**産卵行動**を取りました。クローバーに産卵したのでモンシロチョウではなくモンキチョウであることがわかりました。オスは黄色いがメスは白いものが多いと教えてもらいました。



キバラヘリカメムシ



モンキチョウの産卵



モンキチョウの卵

観察項目(観察順): ガのフン,キマダラカメムシの幼虫,カラスウリ,ヤブガラシ,カメムシの仲間,キンミズヒキ,カマキリ,ミコシガヤ,ギンヤンマ,ツチイナゴ,ヘクソカズラ,マメコガネ,ヤーコン,ウスバキトンボ,ワタ,ローゼル,トウモロコシ,アキニレ,イセノナミマイマイ,ヤマウルシ,アブラゼミの抜け殻,ギボウシ,オギ,ツユムシの幼虫,ニシキギ,セイバンモロコシ,ツユクサ,キイロテントウ,エノキハトガリタマフシ,アキノノゲシ,シンジュ,カラスウリの虫こぶ,ノブドウ,ヤマドシジミ,サカキ,ミツバアケビ,ヒヨドリバナ,タカサゴユリ,サギソウ,ヌマトラノオ,ミズギボウシ,シロバナサクラタデ,シラタマホシクサ,ミソハギ,ワレモコウ,アカイトトリノフンダマシ,アメリカザリガニ,ショウリヨウバッタ,ヒレタゴボウ,ヒメミソハギ,クサネム,ハネナガイナゴ,ヒメクロイラガの幼虫,エンマコオロギ,トリノフンダマシの卵囊,ハッカ,ヌマガエル,アブラガヤ,ホトトギス,キバラヘリカメムシ,モンキチョウ,モンシロチョウの卵,カナムグラ,ツクツクボウシの声